TOTO

配管王接続ユニット（樹脂配管用）

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

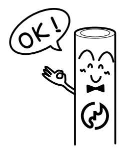
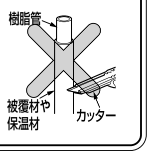
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

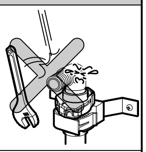
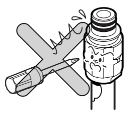
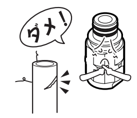
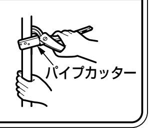
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

分解禁止	⊘は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
必ず実行	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 注　　意

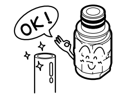
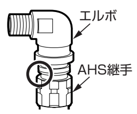
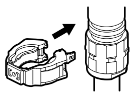
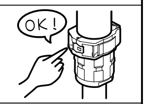
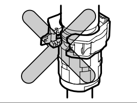
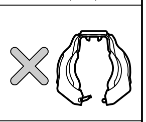
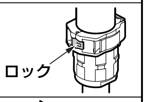
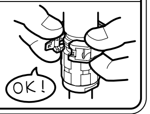
禁　止	**JIS品以外の樹脂管は取り付けない** 水漏し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	被覆材や保温材をカットする際は、カッターなどで樹脂管に傷を入れない、また、カッターなど樹脂管に傷が入るおそれのある工具は使用しない 樹脂管に傷が入ると水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 注　　意

禁　止	**エルボに衝撃を与えない** 破損してけがをしたり、配管が外れ水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
分解禁止	**本商品の分解・改造は行わない** 分解・改造箇所から水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	AHS継手を分解し、再利用しない 水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
必ず実行	**樹脂管を床下より引き出すときは、樹脂管に傷が入らないように行う** 樹脂管に傷が入ると水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	樹脂管はパイプカッターを用いて、切断面が管軸に直角になるように切断する 斜めに切断するとAHS継手のOリングがシール不良となり、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

1-2

⚠ 注　　意

必ず実行	**樹脂管挿入部の表面に傷や汚れがないか確認する　傷や汚れがある場合は、樹脂管を切断し直す** 傷や汚れがあると水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	エルボとAHS継手は、すき間ができないように確実に押し込む 押し込みが不完全な場合、クイックファスナーが正しく装着できず外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	クイックファスナーは必ず同梱品を取り付ける 市販品や類似品のクイックファスナーを取り付けると、クイックファスナーが外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	クイックファスナーは正しく取り付け、目視で確認する 取り付けが不完全な場合、クイックファスナーが外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	クイックファスナーカバーが閉まらない場合は、クイックファスナーが正しく接続されているかどうかを確認する 取り付けが不完全な場合、クイックファスナーが外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	クイックファスナーは、ロック部がカバーの内側に入らないように取り付ける ロック部が内側に入ると取り付けが不完全となり、クイックファスナーが外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	クイックファスナーのロックを確実にかけて、カバーが開かないことを確認する 取り付けが不完全な場合、クイックファスナーが外れ、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	クイックファスナーを外すときは、クイックファスナーに手をそえて外す 手をそえずに押し外すと、クイックファスナーが勢いよく外れけがをするおそれがあります。	

2 取り付け前に

●この施工説明書は設置器具に点検口がある場合の施工手順を記載したものです。設置器具に点検口があるか、ご確認ください。
点検口の有無により、施工手順が多少異なる場合があります。

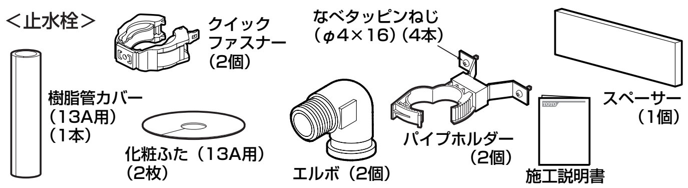
●本商品はAHS継手が接続される専用商品です。
他の継手は接続できません。

●本商品は呼び径22・25のさや管、呼び径13の樹脂管に対応できます。

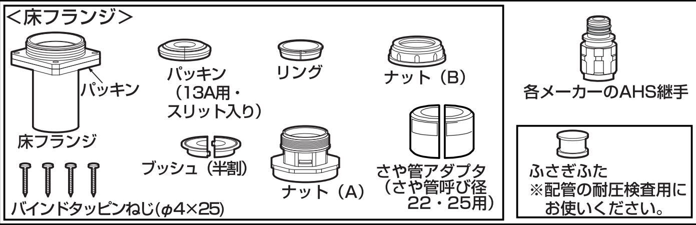
3 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

同梱部品



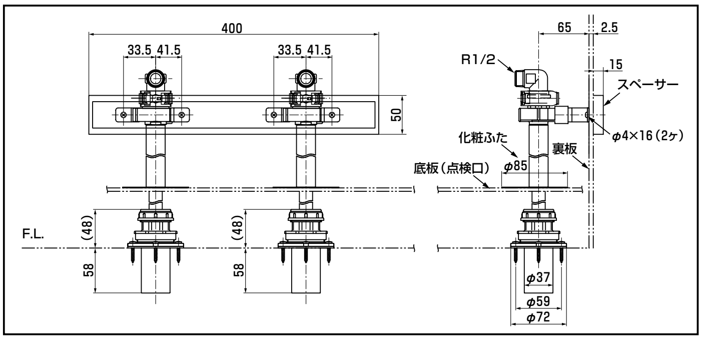
別売品



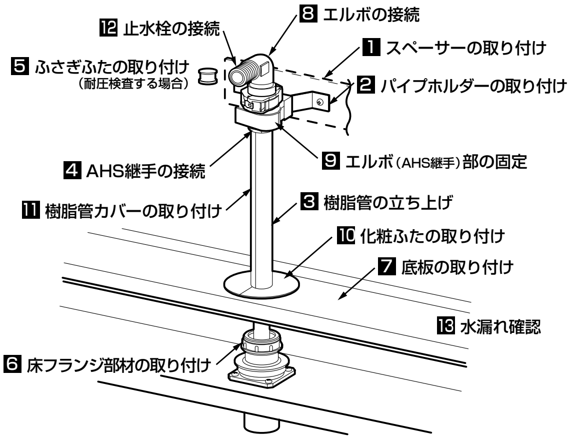
※品番によっては図と現品の形状が一部異なることがあります。

4 完成図

※図と現品の形状が一部異なることがあります。



5-1 施工手順



5-2 施工手順

1 スペーサーの取り付け

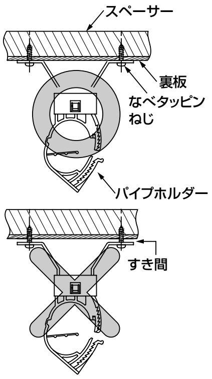
①スペーサーに付いている粘着部のはく離紙をはがす。
②別表に従いスペーサーを裏板裏面に貼り付ける。

2 パイプホルダーの取り付け

パイプホルダーを裏板との間にすき間ができないように、ドライバーを使って2本のなべタッピンねじで均一に取り付ける。
※電動ドライバーを使用する場合はスペーサーが割れる場合がありますので注意してください。

注 意

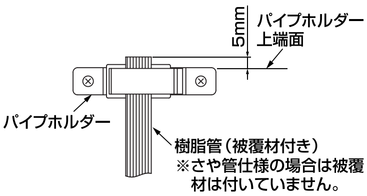
なべタッピンねじの締め付けは、確実に行ってください。ガタツキの原因になります。



5-3

3 樹脂管の立ち上げ

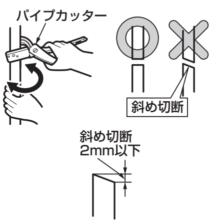
①樹脂管を床下より立ち上げ、パイプホルダー上端面より約5mmの位置で切断する。



⚠注意

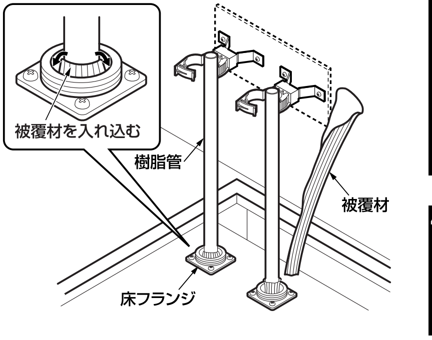
必ず実行

- **樹脂管を引き出すときは、樹脂管に傷が入らないように行う**
  樹脂管に傷が入ると水漏れの原因になります。
- **パイプカッターを用いて切断面が管軸に直角になるように切断する**
  斜めに切断するとAHS継手のOリングがシール不良となり水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



②立ち上げた樹脂管の被覆材を床フランジ位置まではぎ取り、根元でカットする。

③根元の被覆材をめくり、床フランジの中へ入れ込む。
（さや管仕様の場合は被覆材は付いていませんので、②③の作業はありません。）



⚠注意

禁止

- **被覆材や保温材をカットする際は、カッターなどで樹脂管に傷を入れない**
- **カッターなど樹脂管に傷が入るおそれのある工具は使用しない**
  樹脂管に傷が入ると、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

4-1 AHS継手の取り付け （TOTO AHS継手の場合）

①AHS継手よりシールをはがし、インコアを取り出す。
②はがしたシールをインコア端部に合わせ樹脂管に貼る。
③インコアを根元まで樹脂管に挿入する。

⚠注意

必ず実行

- **樹脂管挿入部の表面に傷や汚れがないか確認する傷や汚れがある場合は、樹脂管を切断し直す**
- **被覆管の場合、被覆管の切断は刃物などによる樹脂管（被覆管）の傷付けを防止する被覆カッターを使用する（別売: TZA1CC）**
- **インコアは必ず根元まで樹脂管に挿入する**
- **インコアと切断端面が2mmを超える場合は、樹脂管を直角に切断し直す**

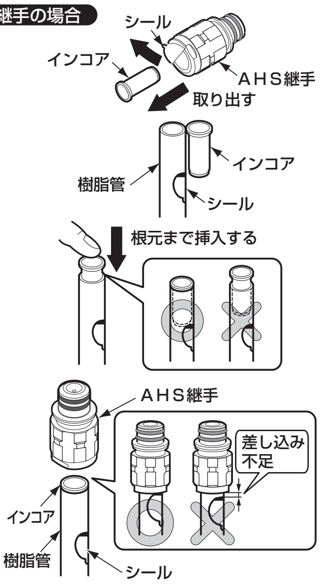
傷や汚れ、斜め切断は、AHS継手のOリングがシール不良となり水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

④AHS継手を樹脂管に差し込んだあと、引っ張って抜けないことを確認する。
⑤AHS継手を少し回転させ、樹脂管となじませる。

⚠注意

必ず実行

AHS継手は樹脂管のシール位置まで差し込む
差し込み不足の場合、樹脂管が抜け水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



注 意

シールは樹脂管からはがさないでください。
検査時のシールによる確認ができなくなります。

4-2 AHS継手の取り付け （各メーカーAHS継手（別売品）の場合）

AHS継手を各メーカーのAHS継手接続要領にしたがい、樹脂管に確実に接続する

注 意

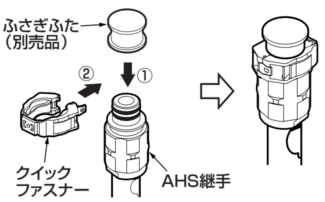
樹脂管挿入部の表面に傷や汚れがないか確認してください。傷や汚れがある場合は、樹脂管を切断し直してください。
水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

裏面へつづく

5-4

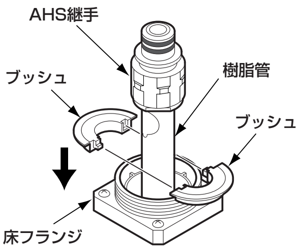
5 ふさぎふたの取り付け（耐圧検査する場合）

AHS継手を樹脂管に接続後（4「AHS継手と樹脂管の接続」までの施工完了後）、耐圧検査をする場合は、ふさぎふた（別売品）を取り付け、クイックファスナー（ふさぎふたに同梱）で固定する。
クイックファスナーの取り付け要領は、8を参照してください。



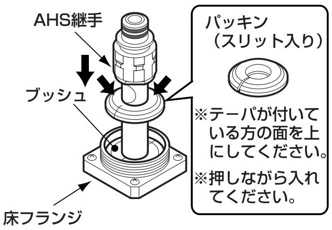
6 床フランジ部材の取り付け

①半割のブッシュを樹脂管にはさみながら、床フランジに取り付ける。



②パッキン（スリット入り）をテーパが付いている方の面を上にして樹脂管にはめ、①のブッシュの上に取り付ける。

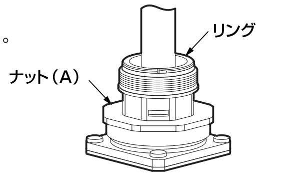
③樹脂管にはめた後、スリット方向に両側から押しながら床フランジに入れる。



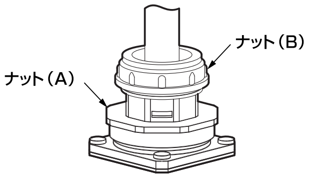
④リングの鍔部を上にしてナット（A）に入れる。

注意

●リングは必ずつば部を上にして取り付けてください。

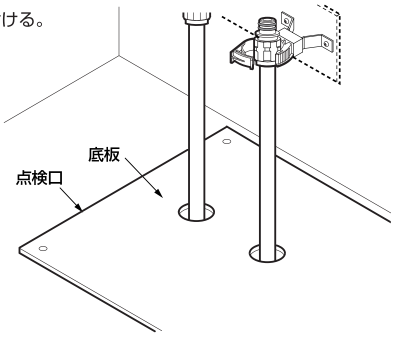


⑤ナット（B）をナット（A）に締め付ける。



7 底板の取り付け

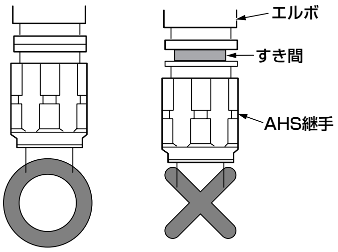
点検口に底板（着脱式）を取り付ける。



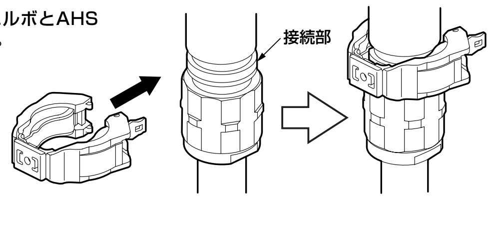
5-5

8 エルボの接続

①AHS継手とエルボは、すき間ができないように確実に押し込む。

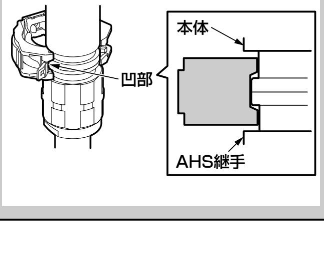


②クイックファスナーをエルボとAHS継手の接続部に装着する。

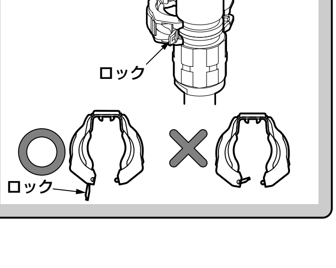


注意

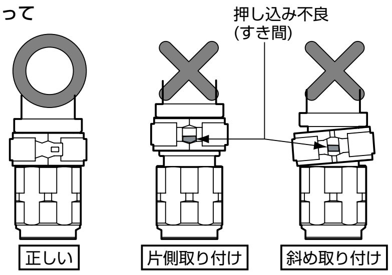
本体とAHS継手の接続部にカバー先端の凹部を合わせ、真っすぐに差し込んでください。



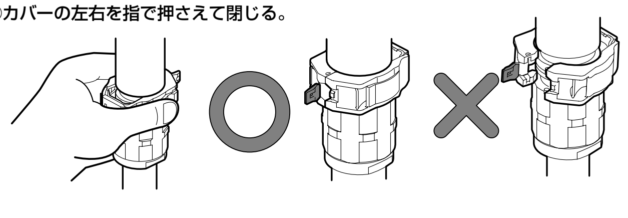
ロックは、装着時にカバーの内側に入らないようにしてください。
誤装着の原因になります。



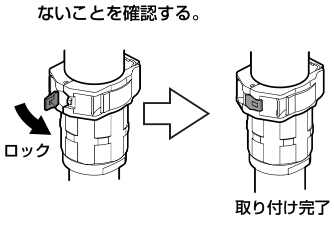
③片側取り付けや斜め取り付けになっていないことを確認する。

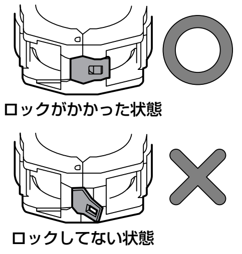


④カバーの左右を指で押さえて閉じる。



⑤ロック部が見えるように手前に回し、ロックを確実にかけ、カバーが開かないことを確認する。

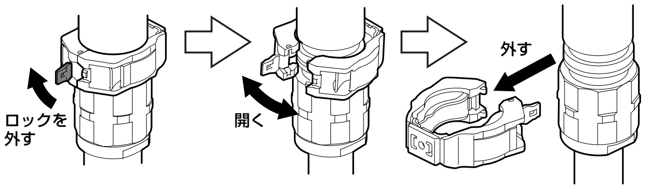




5-6

取り外し方

①ロック部を引き上げて外す。　②カバーを左右に開く。　③取り外す。

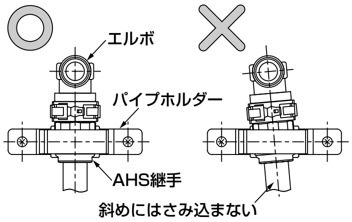


9 エルボ（AHS継手部）の固定

AHS継手部をパイプホルダーではさみ込み、確実に固定する。

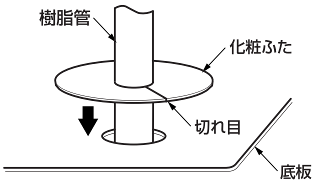
注 意

パイプホルダーに対してエルボが斜めにならないように、AHS継手をはさみ込んでください。
パイプホルダーのはさみ込みがゆるかったり、はさみ方が斜めになっていると、止水栓のガッツキの原因になります。



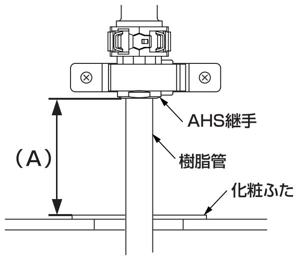
10 化粧ふたの取り付け

※ストックカーゴタイプの場合は不要です。
化粧ふたに付いている粘着部のはく離紙をはがし、切れ目より樹脂管に取り付けて、底板に貼り付ける。

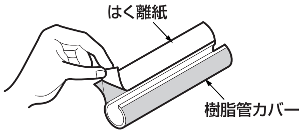


11 樹脂管カバーの取り付け

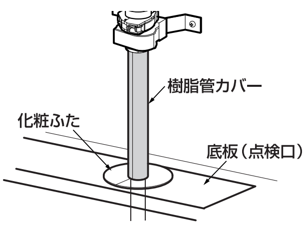
①AHS継手端面から化粧ふたまでの樹脂管長さ（A）を測る。



②樹脂管長さ（A）に合わせて、樹脂管カバーをカットし、粘着部のはく離紙をはがす。



③AHS継手部、化粧ふた部にすき間ができないように樹脂管カバーを樹脂管に取り付ける。



5-7

12 止水栓の接続

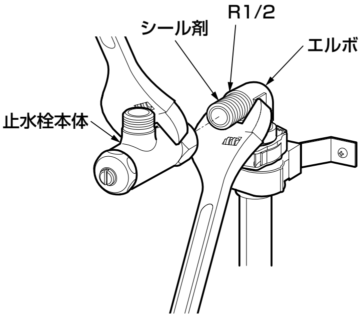
エルボにシール剤を巻き止水栓本体をねじ込む。

注 意

必ず実行

●必ずシール剤を巻いてください。

●必ず工具を使ってねじ込んでください。
緩んで水漏れの原因になります。



重要

13 水漏れ確認

取り付け後、耐圧検査を行い、接続部からの水漏れがないことを確認してください。

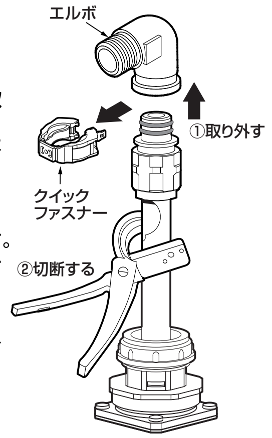
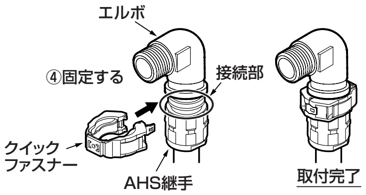
6 メンテナンス方法

AHS継手のインコアを入れ忘れた場合やAHS継手を取り替える場合は次の要領で接続し直してください。

※クイックファスナーの取付取外要領は 5-5 ～ 5-6 を参照してください。

①AHS継手からクイックファスナーとエルボを取り外す。
　※取り外したクイックファスナーはなくさないように注意してください。

②樹脂管を切断する。

③新しいAHS継手（別売品）を樹脂管に接続し直す。
　接続要領は 5-3 施工手順の 4-1 4-2 を参照してください。

④AHS継手にエルボを取り付け、クイックファスナーで固定する。